

平成25年度

施策評価マネジメントシート(平成24年度の実績評価)

記入年月日
平成 25 年 6 月 18 日

| | | | | | | |
|-------|-----|--------------------|-----|-------------|-------|--------|
| 施策No. | 政策名 | 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり | 主管課 | 介護長寿課 | 主管課長名 | 土生都 信輔 |
| 206 | 施策名 | 高齢者福祉の推進 | 関係課 | 健康推進課、社会福祉課 | | |

1. 施策の目的と成果把握

| 目的 | 施策の対象 | 対象指標名 | 単位 | 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | | |
|--------------------|---------------|--|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 高齢者(65歳以上の市民) | ①65歳以上の人口 | | 人 | 見込値 | | | | 11,985 | 12,180 | 12,375 | 12,570 | 12,762 | 12,952 |
| 実績値 | | | | | 11,831 | 11,814 | 11,774 | 12,058 | | | | | | |
| 見込値 | | | | | | | | | | | | | | |
| 実績値 | | | | | | | | | | | | | | |
| 健康で生きがいを持って生活してもらう | ②要介護認定率 | % | | 目標値 | | | | 76.0 | 76.4 | 76.8 | 77.2 | 77.6 | 78.0 | |
| | | | | 実績値 | 75.3 | 75.8 | 76.7 | 79.2 | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | 14.5 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.5 | 15.5 | |
| | | | | 実績値 | 13.2 | 14.1 | 14.5 | 15.1 | | | | | | |
| 成果指標設定の考え方 | | ○生きがいを持って生活してもらっているかどうかは、アンケート調査①「生きがいを感じている高齢者の割合」で把握する。 ○健康面については、②「要介護認定率」で判断する。 | | | | | | | | | | | | |
| 成果指標の把握方法と算定式等 | | ○「生きがいを感じている高齢者の割合」はアンケート調査(65歳以上) ○「要介護認定率」は介護保険の認定状況データ(3月末時点データ) | | | | | | | | | | | | |

2. 施策の役割分担と状況変化

| 役割分担 | 1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと) ○高齢者の方に、生きがいを持って生きいきした生活を送り、自ら介護予防に努めてもらう。 ○高齢者の方に、経験や知識を活かし、ボランティアやNPO活動など、積極的に社会参加してもらう。 ○高齢者の方に、福祉サービスの適正な利用を心がけてもらう。 ○地域住民には、高齢者を見守ってもらう。 ○市民団体には、組織活動を活かして高齢者福祉活動に参加してもらう。 | 2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと) ○高齢者の多様なニーズに適したサービスを提供すると共に、生きがいづくりの場を提供する。 ○高齢者を支援するボランティア、NPO活動を支援する。 ○民間事業者や地域団体との適切な連携のもとで、市内の福祉サービス環境の充実に努める。 |
|------|---|---|
| | 状況変化 | 3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか? ・高齢化が進む。高齢者世帯や高齢者単身世帯の増加が予想される。 ・後期計画期間中に団塊の世代が65歳に到達する。介護サービスの利用等により財政負担が増大する。 ・平成23年度に第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定した。 ・介護保険法が改正され国の方針として24時間サービス対応の地域ケア包括システムを構築することが掲げられており、今後事業を実施する場合は保険料に影響がある。 ・地域包括支援センターの役割が増大している。 ・要介護認定者が増えることにより、サービスの提供や受け入れる事業所も増加傾向にある。 ・高齢化の進展により、二次予防の対象者が増えて要介護認定者の増加も懸念される。 |

3. 基本事業の目的と指標

| 基本事業名 | 対象 | 意図 | 成果指標 | 区分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-----------------------|--------|---------------------|---------------------------|----------|------|------|------|------|------|------|------|
| ① 高齢者の生きがいづくりの推進 | 元気な高齢者 | 健康で生きいきとした生活を送ってもらう | 生きがいを感じている高齢者の割合 | 実績値 % | 75.8 | 76.7 | 79.2 | | | | |
| ② 高齢者福祉サービスの充実 | 高齢者 | 安心して生活が送れる | 要介護認定率 | 実績値 % | 14.1 | 14.5 | 15.1 | | | | |
| ③ 総合相談の充実 | 高齢者 | 不安を解消する | 相談に対し解決した割合 | 実績値 % | 59.5 | 66.3 | 66.0 | | | | |
| ④ 介護サービスの充実と介護保険の適正運営 | 高齢者 | 充実した介護サービスが受けられる | 適切な介護保険サービスが受けられている高齢者の割合 | 実績値 % | | 88.9 | 92.3 | | | | |

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

| 施策のコスト | 項目 | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度予算 |
|--------------------|-----------------|-----------|--------|-----------|-----------|
| | ①本施策を構成する事務事業の数 | 件 | 40 | | 41 |
| ②施策事業費(一般財源以外) | 千円 | 2,791,355 | | 2,968,227 | 3,192,172 |
| ③施策事業費(一般財源) | 千円 | 493,514 | | 499,256 | 539,137 |
| ④施策事業費の計(②+③) | 千円 | 3,284,869 | | 3,467,483 | 3,731,309 |
| ⑤施策人件費(事務事業の人件費合計) | 千円 | 67,248 | | 83,551 | 78,937 |
| ⑥ 計 (④+⑤) | 千円 | 3,352,117 | | 3,551,034 | 3,810,246 |

5. 施策に関連する主要事業等

| 関連する事務事業 | 区分 | 事務事業名 | 摘要 |
|----------|------|--------------------------|---------------------------|
| | 事務事業 | | 高齢者生きがいと健康づくり推進事業 |
| 事務事業 | | ふれあい生きいきサロン事業 | H24年度貢献度評価上位、H25年度優先度評価上位 |
| 事務事業 | | 二次予防事業対象者把握事業(特定高齢者把握事業) | H24年度貢献度評価上位 |
| 事務事業 | | 介護予防事業(元気アップ教室) | H24年度貢献度評価上位 |
| 事務事業 | | 介護予防ケアマネジメント事業 | H24年度貢献度評価上位 |

| | | | | | |
|------|-----|-----|----------|-----|-------|
| 施策番号 | 206 | 施策名 | 高齢者福祉の推進 | 主管課 | 介護長寿課 |
|------|-----|-----|----------|-----|-------|

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 実績比較 | <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した | <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した | <input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態) |
| | <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した | <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した | |
| 背景・要因 | <p>・平成24年度の65歳以上の高齢者数は、12,058人で前年度に比べて284人増加している。地区別では岩瀬地区115人・真壁地区137人・大和地区32人が前年よりも増加している。今後も65歳に到達する年代別人口が増えてくることから、さらに増加していくと予想される。</p> <p>・高齢化率は、24年度では27.0%で、23年度の26.3%と比べて0.7ポイント増加しており、23年度も0.7ポイント増加していることから年々上昇し高齢化が一層進展している。</p> <p>・要介護認定率においても24年度は15.1%で23年度14.5%と比べて0.6ポイント増加しており、23年度は0.4ポイントの増加であったが、高齢化の進展に伴い要介護認定率も伸びている。</p> <p>・要介護認定率を地区別にみると岩瀬地区は15.3%、真壁地区は15.5%、大和地区は17.1%となっており、真壁地区においては前年と比較して0.4ポイント減少しているが岩瀬・大和地区では要介護認定者数が前年と比較すると岩瀬地区では89人増加し、1.2ポイントの増加、大和地区でも13人増加し1.4ポイント増加している。</p> <p>また、介護が必要になると考えられる80歳以上の人口の占める割合は、岩瀬地区35.1%・真壁地区35.3%・大和地区38.7%で前年と比較すると、各地区ほぼ横ばいである。</p> <p>・生きがいを感じている高齢者の割合は79.2%で、23年度と比べると約2.5ポイント増加している。</p> <p>・生きがいを感じることは、「近所の人、友人、知人とのふれあい」「旅行や、買い物に出かけること」「家族とのふれあい」「趣味活動」である。この内容から、周囲の人とのふれあいや交流を図ることが高齢者の生きがいと介護予防に繋がっていると推察される。</p> <p>・アンケート調査結果で、「あなたは、日頃ご自身の健康のために、何か心がけていることがありますか」の設問に対して、12.1%の方が特に何もしていないと回答しているが、それ以外の方は、食事や睡眠、スポーツ、健康診断の受診など自分の健康のために日頃から心がけており、健康への関心が強いことから、市民の介護予防意識は高いと考えられる。</p> | | |

1)~②成果目標の達成状況

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 実績比較 | <input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った | <input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った | <input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った |
| | <input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った | <input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った |
| 背景・要因 | <p>・高齢者が生きがいを感じている割合は、24年度の目標値が76.4%に対し79.2%と2.8ポイント上回っており、前年度と比較して2.5ポイント増加している。現在実施している、ふれあい生きがいサロン事業や高齢者生きがいと健康づくり推進事業等の高齢者サービス事業が、生活を営む上で何らかの生きがいづくりに貢献していると考えられる。なお地区別の状況を前年度と比較すると、岩瀬地区では80.5%で4.6ポイント、真壁地区では78.7%で4.8ポイント伸びており、大和地区では75.8%と3.3ポイント減少しているが23年度でも5.1ポイント減少している。</p> <p>・要介護認定率は、24年度の目標値の15.0%を0.1ポイント上回る15.1%の結果となり、前年度より0.6ポイントの増加している。過年度の23年度でも0.4ポイント、22年度では1.3ポイント増加している。なお本年度の高齢化率は0.7ポイント増加に対して、要介護認定率は0.6ポイント増加であることから、介護予防事業等の実施による一定の効果であると認められる。</p> <p>この要因としては、二次予防対象者把握事業で、二次予防対象者をチェックリストにより多くの対象者の把握することができ、より多くの対象者が介護予防事業への参加することにより、今後も高齢化が進むなかで、要介護認定率の上昇を抑える効果が期待できる。</p> | | |

2) 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 実績比較 | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である | <input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である |
| | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である | |
| 背景・要因 | <p>・24年度(平成24年3月末)現在の高齢化率は27.0%で、県内市町村44市町村中16位と高い。(県平均24.4%・全国平均24.7%) 近隣の筑西市は25.2%で21位、笠間市は25.4%で19位である。</p> <p>・要介護認定率は県平均と比べると、平成25年1月現在で県14.3%、桜川市15.1%で県平均よりも高く、近隣の市町村である筑西市では15.2%、笠間市は14.0%であり、前年度と比較すると、桜川市では0.6ポイント伸び、県では0.3ポイント伸び、筑西市で0.8ポイント・笠間市でも0.3ポイントの伸びている。</p> <p>・近隣の市町村と比較すると高齢化率は県平均や筑西市・笠間市よりも高く、要介護認定率も県平均や笠間市よりも高いが筑西市よりは低い。このことから同様の地域特性である筑西市と比較すると、桜川市は高齢化率が高く要介護認定率が低いことから、ほぼ同水準であると思われる。</p> <p>・要介護認定率は近隣の市町村と同水準の要因としては、一般高齢者及び二次予防事業による介護予防事業取組みや、市民が自分自身についての健康への関心の強さやが推測される。</p> | | |

3) 住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか、その他の特徴は?)

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 実績比較 | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である | <input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である |
| | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である | |
| 背景・特徴 | <p>・市民アンケート調査で「日頃ご自分のために、何か心がけていることがありますか」の問に対して、特に何もしていないと回答された方が12.1%と、昨年と比較すると2.9ポイント増加している。また「自分自身が健康で元気に暮らしていると思いますか。」の問に対しては、元気に暮らしていると回答された方が78.4%で、昨年と比較すると0.8ポイント減少しているが、高齢者が生きがいを感じている割合は、前年度と比較して2.5ポイント増加していることから、現在実施している高齢者福祉サービス事業が、高齢者の生きがいづくりに貢献していると考えられる。</p> <p>・第5期桜川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画によるアンケートで「高齢者施策として特に力を入れてほしい事は何ですか」の設問に対しての回答では、「緊急時・災害時の支援システムの充実」が最も多く、次に「在宅で介護者を介護している家庭への支援」、さらに「健康づくりの対策の推進」「在宅福祉サービスの充実」「在宅介護に関することが多いことから、在宅介護者を支援するために介護保険の在宅サービスの利用を促し、市で実施している「家族介護者慰労金支給事業」「紙おむつ等購入費助成事業」「家族介護者交流事業」等の事業により、家族介護者への支援を図るとともに、アンケート調査で最も意見が多かった高齢者の緊急時・災害時の支援事業として、平成24年度から「高齢者見守りネットワーク事業」を実施し、多くの関係者で高齢者を見守ることで、緊急時や異変があった時には速やかに支援を行える体制づくりを行い、市民のニーズに合った事業を展開した。</p> <p>・市民アンケートの満足度・優先度調査の結果、優先度が高く、満足度はやや高い位置であり、重点維持項目となっている。</p> | | |

7. 施策の成果実績に対する、これまでの主な取り組み(事務事業)の総括

| | | |
|-------------|--|--|
| 前年度の取組状況と課題 | <p>・24年度は、「元気な高齢者」を対象に「健康で生きいきした生活を送ってもらう」ことを重点的に取組みを行った。</p> <p>・具体的に施策の成果向上に貢献した主な事業は、事務事業貢献度評価結果から「高齢者生きがいと健康づくり推進事業」、「ふれあい生きいきサロン事業」、「二次予防事業対象者把握事業(特定高齢者把握事業)」、「介護予防ケアマネジメント事業」、「介護予防事業(元気あふ教室)」であった。</p> <p>・これらの事業の主な取組としては、「高齢者生きがいと健康づくり推進事業」は岩瀬及び真壁福祉センターにおいて趣味講座等を24講座・年間525回開催し、延べ人数で5,456名が参加し高齢者の生きがいづくりに貢献した。</p> <p>また、「ふれあい生きいきサロン事業」では、岩瀬地区では14ヶ所・大和地区では1ヶ所・真壁地区5ヶ所で実施し、年間282回開催し延べ3,408名が参加し介護予防体操や健康相談、口腔ケア教室や認知症サポーター養成講座についての講話を取り入れ介護予防に寄与した。</p> <p>・「二次予防事業対象者把握事業」は、市内に在住する65歳以上85歳未満で介護保険の要介護認定者を除く高齢者9,318名に対し、身体状況を確認するチェックリストを送付し、3,707名から回答があり回収率39.8%、その内二次予防対象者に該当した人は、853名で22.9%と、多くの対象者の把握に努めたが平成23年度と比較すると、チェックリストの回収率が4.8ポイント減少していることから、より多くの対象者を把握するために回収率のアップが課題である。</p> <p>・「介護予防ケアマネジメント事業」は、二次予防事業対象者把握事業でチェックリストにより身体機能に衰えがみられた高齢者で、介護予防教室に参加を希望する高齢者に対し、平成24年度では120名に対し自宅訪問しアセスメントを実施した。平成23年度では124名と訪問していた中、ほぼ前年同様のアセスメントを実施している。</p> <p>・「介護予防事業(元気あふ教室)」は、二次予防事業対象者で教室参加者に、運動器の機能向上教室と口腔機能向上教室を実施し、平成24年度では5会場59回開催し(降雪のため1回中止)100名の参加者の機能向上を図り介護予防に努めた。平成23年度では5会場30回開催し参加者が135名で前年と比較すると35名減少していることから、介護予防教室により多くの対象者に参加していただくのが課題である。</p> <p>・その他の事務事業として、「介護予防・生活支援事業」、「高齢者ふれあい給食事業」、「ひとり暮らし緊急通報システム設置運営事業」を継続して実施した。なお「ひとり暮らし緊急通報システム設置運営事業」では、平成24年度に新規で30台を設置し、緊急時に速やかに援助を行えるよう支援した。</p> <p>また、高齢者の支援事業として、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、平成24年10月から地域の関係者や市内外の協力事業所で高齢者をさげなく見守る、高齢者見守りネットワーク事業を県内最初に実施した。</p> <p>・「総合相談事業」では、高齢者や家族からの様々な相談に対応した件数は、平成24年度では相談件数210件・延件数254件に対し、適切なサービス利用に繋がる支援を行い、結果として140件の問題解決に努めた。</p> | |
|-------------|--|--|

8. 今後の課題と次年度の方針(案)

| 区分 | 今後の課題 | 次年度の方針(案) |
|------|--|--|
| 施策全体 | <p>・地域包括支援センターを中心とした介護予防事業を重点的・効果的に取組み、65歳以上の一般高齢者と二次予防対象者の要介護認定率の急激な上昇を抑制していくことが必要である。また、利用者に対し必要な介護サービスが、事業者から適切に提供されているか等の確認・審査を行い、介護保険の適正化を図るとともに、保険料の確保に努める必要がある。</p> | <p>・高齢者が、住み慣れた我が家や地域で誇りと生きがいを持ち、元気で暮らすことができるよう、関係機関との連携により介護保険サービス及び在宅福祉サービスまたは家族介護者支援の高齢者福祉サービスの充実を努めます。</p> |
| 基本事業 | ① 高齢者の生きがいづくりの推進 | <p>高齢者が豊かな経験と知識・能力を発揮し、生きいきとした生活を送ってもらうよう努めます。</p> |
| | ② 高齢者福祉サービスの充実 | <p>高齢者が在宅生活を送れるよう日常生活を支援し、要介護状態にならないよう介護予防に取り組みとともに、家族介護者への支援を図り高齢者福祉サービスの充実を努めます。</p> |
| | ③ 総合相談の充実 | <p>高齢者が在宅で生活を送るためには、地域包括支援センターによる総合相談事業・権利擁護事業・成年後見人制度・高齢者虐待予防事業等の事業を市民に周知し制度の利用を促進していく。また24年度から開始した高齢者を地域等で見守る高齢者見守りネットワークを今後も継続していく。</p> |
| | ④ 介護サービスの充実と介護保険の適正運営 | <p>介護保険制度の趣旨に基づき、利用者に対し必要なサービスを提供し、またサービスプランの適正な運用に努めるとともに、保険料を確保し適正な運営を図ります。</p> |